

現場とバックオフィス、それぞれの活用法をレポート
ANDPADならここまでできる!

管理の効率化で施工品質アップ!



施工に必要な資料はすべてANDPADで共有。現場での不明点をなくすることで施工の品質向上を図っている。

明確な指示で現場の手戻りを軽減



ANDPADを通じた精緻な指示で協力会社の認識や解釈のギャップを埋め、施工品質の向上を目指す。



必要な情報をANDPAD上に集約してペーパーレス化。紙ファイルを持ち歩く負担も減った。

受発注業務の工数を大幅に削減!



協力会社の納品完了などのステータスを迅速に共有し、領票を電子化することによって、月次決算の締めを早めることに成功した。

案件ごとのステータスを逐次共有



請負工事を追加発注する際も、ANDPAD上ですぐに注文書を再発行できる。



請求書などの領票の作成もANDPAD上で完結。押印や郵送の手間を省略できる。

注」の活用を始めた。各担当者が作成していた見積書や注文書などをANDPAD上に取り込み、全社でフォーマットを統一した。また、外注工事の完了報告などもANDPADを通じて行うフローに変えた。「フローを変更することに戸惑いを感じる協力会社もいましたが、繰り返し説明して理解してもらい、今では「スマホでできるから便利だね」と言ってもらえます。納品や検収のステータスを全社で共有しやすくなり、ANDPAD上で請求業務もできるようになったので、月次決算のスピードが格段に上がりました」と西岡氏は笑顔を見せる。

また、請求書などを電子化したことで、電子帳簿保存法やインボイス制度といった法令への対応もスムーズにできたという。「ANDPAD受発注の導入は、業務フローやフォーマットを今一度見直す良い機会になったと感じています。案件の管理は煩雑で、ともすると属人的になりがちですが、施工の品質を高めるには、全社で統一したルールを運用することが大切です。今後は、現場でより詳細な指示を行えるようにANDPADをもっと使いこなして、施工品質の向上に役立てていきたいと考えています」と西岡氏は前を向く。

EPC事業を全国で拡大する株式会社動力も採用
**「ANDPAD受発注」の導入で業務を効率化
 施工品質のさらなる向上を目指す**

架台メーカーとしてEPC事業にも力を入れる動力は、施工管理に加えて、受発注業務にもANDPADを活用している。「施工品質を向上するためにANDPADは欠かせない」と話す動力九州営業所の西岡晋宏所長に、ANDPADの活用法を聞いた。

写真/鍋田広一(バンフィールド) 取材・文/山下幸恵(office SOTO)

**「ANDPAD受発注」の活用で
 顧客管理業務がスムーズになりました!**



**ANDPADが
 業務の要になっています**

現場からの資料のリンクエスト ANDPAD上で完結

動力は、架台メーカーとして独自のさまざまな太陽光架台を開発するとともに、設計・工事、メンテナンスといったEPC事業にも力を入れている。受注件数が増える中、紙のファイルとメールによる管理手法に限界を感じ、6年前にクラウド型建設プロジェクト管理サービス「ANDPAD」を導入した。写真や図面、工程表などの資料を一元管理できるANDPADを活用し、あらゆる情報を集約して情報の共有やコミュニケーションの円滑化を図ったという。「以前は、現場から資料を送ってほしいと言われると、大容量のファイルをメールし、届いたかどうか電話で確認していました。今は、必要な情報をすべてANDPAD上にアップしているのだから、ANDPADのここを見てください」と伝えるだけで完結し、担当者の負担が軽減されています」と西岡氏は話す。

細かいルールも全社で統一 施工品質のアップを目指す

業務効率化の手応えを感じたことから、続いて、見積・発注・納品・請求を一気通貫で管理できるシステム「ANDPAD受発注」

現場の効率化から経営改善まで一元管理できる
 クラウド型建設プロジェクト管理サービス

ANDPAD



導入企業数 **7年連続シェア No.1**
 利用社数 **23万社** ユーザー数 **68万人**

※「建設業マネジメントクラウドサービス市場の動向とベンダシェア」(ミックレポート2024年12月号) (デロイト・トーマツ ミック経済研究所調べ)

株式会社アンドパッド

東京オフィス: 東京都千代田区神田練馬町300 住友不動産秋葉原駅前ビル8階
 TEL: 03-6831-4551 <https://andpad.jp>

公式HPは
 こちら!



導入事例集DLは
 こちら!



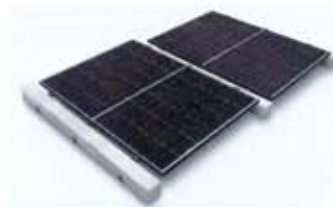
株式会社 動力

株式会社動力
 九州営業所 所長
 西岡晋宏氏

社名には、「エネルギー」という意味の他、人べんをつけると「働く力」、ローマ字表記では「努力」とも読めることから、「チームワークで新たな時代を支えるエネルギーになる」という思いが込められている。



折板屋根用金具の「SMAC AL Z」はわずか250gに軽量化し、搬入や据え付けの負担を大幅に軽減した。アルミ製のため塩害地域でも利用でき、コストダウンにも役立つ。



置き基礎架台の「らくらく置っくん」は、陸屋根のスペースを有効活用でき、熟練の技術がなくても容易に施工できる。従来の方式と比べて工期も大幅に短縮できる。